

第 8 回レドックス・酸化ストレス・フィトケミカルズ生体計測研究会

8th B-ROPs (Biometrics of Redox, Oxidative Stress and Phytochemicals Study Group)

～Web(Zoom)・現地開催～

日 時: 2026 年 7 月 31 日(金) 13 時 00 分～

会 場: 島根大学医学部出雲キャンパス
国際交流ラウンジ

693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
TEL 0853-20-2284

会 費: 無 料

- ※ 著作権等の配慮から講演内容の録画・録音は禁止とさせていただきます。ご理解・ご協力の程お願いいたします。
- ※ 一般講演は講演 15 分、質疑応答 5 分とします。
- ※ 参加をご希望の方は以下の URL にアクセスいただき、申込フォームから参加登録してください。折返し『視聴画面URLのご案内 7 月 31 日第 8 回 B-ROPs 研究会』をお送りしますので Web でのご参加の方はこれによりご参加ください。

<https://forms.gle/i1Vf6rscXxgXfHJq8>



- ※ 申込フォームからのお申込みができない場合は、メールでのお申込みも受け付けます。(氏名・ご所属を記載願います。)

shimane-oph2284@med.shimane-u.ac.jp 担当: 高橋

- ※ 7 月 30 日(木)までに視聴画面URLが届いていない場合は事務局までご連絡ください。

B-ROPs 研究会事務局:

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

島根大学医学部眼科学講座内

TEL 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278

共催: B-ROPs 研究会・島根大学医学部眼科学講座・参天製薬株式会社

協賛: 株式会社 LLC ジャパン

開催挨拶(13:00-13:05) 谷戸正樹(島根大学・眼科学講座)

◎一般講演第1部 (13:05-14:25)

座長：尾花 明 (聖隷浜松病院アイセンター)

1. 原発開放隅角緑内障患者に対するフランス海岸松樹皮・ビルベリー抽出物含有サプリメントの眼圧・酸化ストレスへの影響
○大谷雛瑚, 井田千紗子, 島田文香, 村上華奈, 小池みずき, 原野晃子, 市岡昇,
吉田悠人, 谷戸正樹
島根大学眼科学講座
2. 島根大学緑内障アドヒアランス質問票 (SU-GAQ) スコアと高齢者機能評価スコアの関連
○古江真由美¹, 加藤佑弥¹, 大谷雛瑚², 井田千紗子², 村上華奈², 小池みずき²,
高木啓伍², 吉田悠人², 杉原一暢², 谷戸正樹²
 1. 島根大学医学科6年
 2. 島根大学眼科学講座
3. 眼不快感を引き起こさない 222 nm Far-UVC 照射条件の検討：前向き介入研究
○海津幸子, 杉原一暢, 谷戸正樹
島根大学眼科学講座
4. 深層学習を用いた網膜加齢速度と急速 eGFR 低下との関連
○加堂陽一¹, 吉野 純¹, 古山 誠², 朝岡 亮³, 武藤繁貴⁴, 谷戸正樹⁵, 神田武志¹
 1. 島根大学医学部腎臓内科
 2. 南子安眼科
 3. 聖隷浜松病院
 4. 聖隷健康診断センター
 5. 島根大学医学部眼科

◎一般講演第2部 (14:30-15:50)

座長：海津幸子 (島根大学・眼科学講座)

5. 食習慣改善に向けた「ベジメータ®」活用と行動変容の検討
○前 悠佳璃, 酒井海帆, 古閑文代, 山本高弘, 村上晴彦, 加藤貴彦
公益財団法人 熊本県総合保健センター
6. オフィスワーカーにおける皮膚カロテノイド量と食意識、体組成との関連
○丹野久美子, 渡辺圭佑, 青木拓巳, 長谷川麻子, 田中一裕
宮城学院女子大学

7. 抗 VEGF 治療を受けた nAMD 僚眼の黄斑色素密度

○尾花 明, 郷渡有子

聖隷浜松病院アイセンター

8. 脳ドック受診者における AGEs スコアと生活習慣の関連

○大森直樹, 田部井寛, 青木慶仁, 金井由貴枝, 岩佐憲一, 有竹 洵, 田中智貴, 長井 篤

島根大学医学部脳神経内科

◎特別講演 (16:00-17:00)

座長：谷戸正樹 (島根大学・眼科学講座)

角膜内皮の酸化ストレス脆弱性と病態

奥村 直毅 先生

(同志社大学生命医科学部医工学科 教授)

角膜内皮細胞は角膜の透明性維持に必須であるが、増殖能が極めて乏しい post-mitotic cell であり、生涯にわたり細胞数が徐々に減少する特徴を有する。また、高いエネルギー需要と豊富なミトコンドリアを有することから、酸化ストレスの影響を受けやすい細胞群とされる。近年、Fuchs 角膜内皮ジストロフィ (FECD) をはじめとする角膜内皮疾患において、酸化ストレス、ミトコンドリア機能障害、脂質過酸化、蛋白恒常性破綻など、複数のストレス応答異常が病態形成に関与することが報告されている。本講演では、角膜内皮を「ヒトで直接観察可能な酸化ストレス脆弱組織」として位置づけ、角膜内皮疾患における酸化ストレス病態について概説する。さらに、酸化ストレスにより障害された組織の再建という観点から、近年進展している角膜内皮再生医療について紹介し、今後の展望について議論する。

閉会挨拶 (17:00-17:05) 尾花 明 (聖隷浜松病院アイセンター)

ベジメータ®は、野菜（果物）摂取量を「正確」に評価する 国際的なグローバルスタンダード（世界標準）です

世界52ヶ国、累計販売台数:25,000台以上、測定者数:2,400万人以上、世界170以上の研究機関で採用、250以上の科学論文

ベジメータ®の特長

正確

野菜摂取量と相関する
皮膚カロテノイドのみを測定

ベジメータ®

類似装置



■ カロテノイド

■ ヘモグロビン(血液の色)

■ メラニン色素(肌の色)

簡単

中指に光をあてるだけ



迅速

測定時間はわずか10秒



- ベジメータ®は、光を利用して皮膚のカロテノイド量を測定する**光学的皮膚カロテノイド量測定装置**です。LED光を指先に**10秒間照射する**だけで、簡便かつ迅速に「**過去30日以内の野菜摂取状況**」を評価できます。
- 測定結果は「**ベジスコア™**」として**0~1,200の数値**で表示され、野菜摂取状況を客観的に反映します。
- 高い測定精度**により、わずかな変化も捉えることができ、**食行動の改善効果は「2週間以内」**に確認できます。スコアの変化を迅速に把握できるため、**野菜摂取に対する意識の向上と行動変容の維持**に役立ちます。
- ベジメータ®は、**野菜不足とその改善状況を「見える化」**し、食生活の改善を促進します。継続的な測定と簡単な食育により、**80%以上の方で野菜不足の改善**が確認されています。
- 野菜摂取量評価（皮膚カロテノイド量測定）の妨げとなる肌の色（メラニン色素）や血流（ヘモグロビン）の影響を受けないため、**国際標準の「正確な」野菜・果物摂取量評価装置**として位置付けられています。
- 米国農務省(USDA)*および国立健康・栄養研究所(NIBN)****の研究者による「**第三者評価**」を受けています。

*:Radtko et al. Adv Nutr. 2020 Sep 1;11(5):1282-1299, **:Okada et al., Nutrients. 4;16(13):2133. (2024)